

Ⓑ

5

## 小 論 文

時 間 120 分

————— 注 意 事 項 —————

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはならない。
2. この問題冊子は 14 ページである。印刷不鮮明の箇所などがある場合には、監督者に申し出ること。
3. 解答用紙の指定欄に必ず受験番号を記入すること。
4. 解答はすべて別紙の解答用紙に横書きで記入すること。
5. 解答用紙の評点欄には何も記入しないこと。
6. 解答用紙は持ち帰らないこと。

<資料>は、キム・ジヘ(尹怡景訳)『差別はたいてい悪意のない人がする——見えない排除に気づくための10章』(大月書店, 2021年)の「9章 みんなのための平等」である。資料を読んで、下記の設問に答えなさい。

\*資料は、韓国の大学で差別問題を研究する教授によって書かれたものであり、韓国の社会や法制度を前提にしている。

(1) 下線部①「トイレは、社会の平等達成の水準を示す立派な尺度である」とはどのようなことか。説明したうえで、資料の中で示されている具体例をすべて挙げなさい。

(1行20字詰め, 15行以内)

(2) 下線部②「差異のジレンマ」とはどのような意味か。説明しなさい。

(1行20字詰め, 20行以内)

(3) 下線部③「不平等な世の中を維持するために苦勞を続けるのか。それとも、平等な世界をつくるための不便や不都合な状況を我慢するのか」とはどのようなことか。説明しなさい。

(1行20字詰め, 25行以内)

(注意)

解答にあたっては、解答用紙の1マスに1字を使い、句読点、引用符、括弧などはいずれも1字として扱うこと。ただし、算用数字およびアルファベットは1マス2字とする。書き出しおよび行を改めたときには、1マス空けること。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承願います。



この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承願います。

# 令和5年度入学試験 小論文「出題意図」

## (入試情報公開用)

### 行政政策学類 一般選抜 前期日程

本問題は、キム・ジヘ（尹怡景訳）『差別はたいてい悪意のない人がする——見えな  
い排除に気づくための10章』（大月書店、2021年）の一部を資料として用い、受験生  
の読解や要約の力、論理的思考力や論述力を問うものである。

同書において筆者は、差別はたいてい悪意のない人によってなされていることや、差  
別がどのように不可視化されるのかを、様々な例を用いて解説したうえで、私たちは差  
別にどう向き合うべきかを問いかけている。

本資料は、同書の第9章「みんなのための平等」に当たり、普遍的でありながら多様  
性をもつ人間みんなが真に平等であるためには、どのような社会となるべきかをトイレ  
や採用試験の例などを挙げながら思考するものである。そのうえで、不平等な世の中を  
維持するために苦勞を続けるのではなく、平等な世界をつくるための不便や不都合な状  
況を我慢し、努力を続けていくべきであると説いている。

設問(1)は、「トイレは、社会の平等達成の水準を示す立派な尺度である」とはどう  
いうことかを理解できているかを問うとともに、具体例を要約する力を問うものであ  
る。

設問(2)は、「差異のジレンマ」とはどういうことかを読解し要約する力を問うもの  
である。

設問(3)は、「不平等な世の中を維持するために苦勞を続ける」とこと、「平等な世  
界をつくるための不便や不都合な状況を我慢する」とことの内容を読解したうえで、それ  
ぞれについて、論述できるかを問うものである。